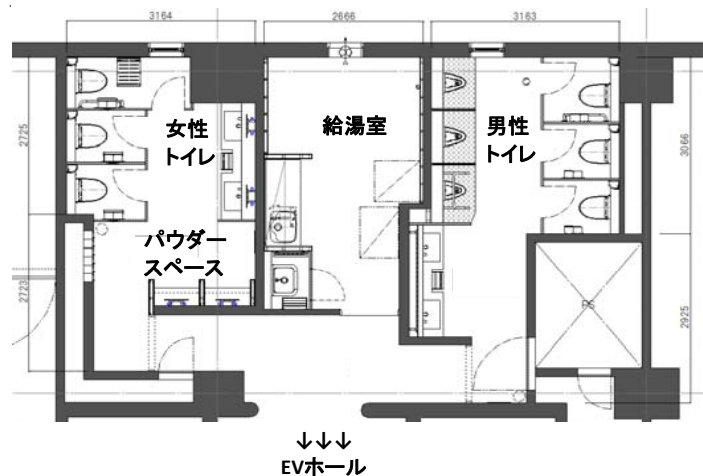
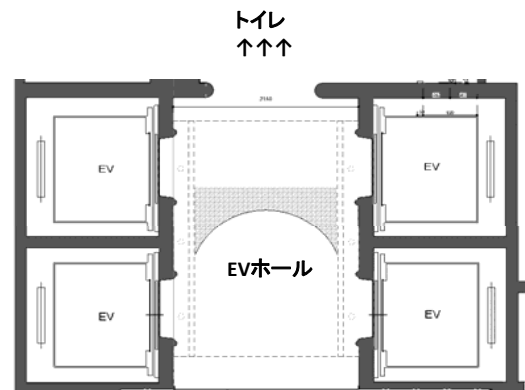


基準階トイレ平面図



トイレのレイアウト変更は行わず、器具・内装を更新・女性配慮を充実することで建物の付加価値を高めました。

基準階EVホール平面図



トイレと合わせてEVホール・共用廊下の内装更新、照明のLED化を実施。トイレと隣接しているため全体的な雰囲気を含わせながらイメージを一新しました。

女性トイレ（改修前）：大便器スペース



棚などの荷物を置けるスペースがないため、荷物を持つての利用は不便です。

女性トイレ（改修後）：大便器スペース



大便器は、ネオレストを設置。タンクレスなので、スッキリとした印象を与えます。また、棚を設置することにより安心して物が置けるよう配慮しました。

EVホール（改修前）



改修前のEVホールは白と水色系の色調で、少し冷たい印象を受けます。

EVホール（改修後）



既存のアーチ型天井をシームレスの間接照明で照らし、EVホール全体を明るくしました。また、木目の壁材とダーク系の床材で落ち着いた空間を演出しています。

女性トイレ（改修前）：パウダースペース



ドライエリアがないため、荷物を置く場所に少し困ります。全面鏡のため、空間は広く感じますが他の利用者の鏡の映り込みが気になります。

女性トイレ（改修後）：パウダースペース



女性のお化粧時の配慮として、間接照明付の鏡を設置しました。手洗スペースはツインデッキカウンターの採用で荷物置きに配慮。パウダークォーターは天井までの仕切り板を設置し、個室感を高めました。

男性トイレ（改修前）：小便器スペース



ライニングが高いため荷物を置きづらく、また、利用時に少し圧迫感を感じます。

男性トイレ（改修後）：小便器スペース



デザイン性・節水性に優れたマイクロ波センサー内蔵の壁掛け小便器・アイテム01を設置。仕切り板を天井まで伸ばすことで個室感を演出しました。ライニングも低くなったので、荷物をラクに置くことができます。

建築概要

名称	某オフィスビルトイレ他リニューアル工事
所在地	都内某所
設計	TOTOエンジニアリング株式会社 設計部
施工	TOTOエンジニアリング株式会社 東京支店
竣工年月	2013年11月

水まわりの特長

<改修の経緯>

当該ビルは竣工後20年を経過しており、既設設備の老朽化・デザインの陳腐化が散見していたとのこと。今回は当該ビルが貸しビル市場において競争力を保ち続けることを目的とし、特に老朽化の目立つトイレ・給湯室の改修を実施しました。

<トイレの特長>

「5～10年後のトイレ」をテーマに近年トレンドとなりつつある小便器の隔てやパウダールームの個室化等を提案に盛り込みました。また停電時対応（大便器には手動レバー付・洗面水栓は発電タイプを提案）や荷物配慮、女性配慮等、オフィスに求められる基本的なニーズも押さえることで利用者・お客様双方の要望を満たすトイレ空間を目指しました。